【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和7年4月11日(2025.4.11)

【公開番号】特開2022-187487(P2022-187487A)
【公開日】令和4年12月19日(2022.12.19)
【年通号数】公開公報(特許)2022-233
【出願番号】特願2022-91630(P2022-91630)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　8/02(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/68(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/63(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/36(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/34(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/46(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/44(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/81(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/73(2006.01)
Ａ６１Ｑ 19/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　8/02
Ａ６１Ｋ　8/68
Ａ６１Ｋ　8/63
Ａ６１Ｋ　8/36
Ａ６１Ｋ　8/34
Ａ６１Ｋ　8/46
Ａ６１Ｋ　8/44
Ａ６１Ｋ　8/81
Ａ６１Ｋ　8/73
Ａ６１Ｑ 19/00

【手続補正書】
【提出日】令和7年4月3日(2025.4.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
以下の成分（Ａ）、（Ｂ）、（Ｃ）および（Ｄ）を含む組成物をシート基材に含浸させた、シート状化粧料であり、
成分（Ｂ）が、Ｎ－ステアロイル－Ｎ－メチルタウリンまたはその塩およびアシルアミノ酸系界面活性剤からなる群から選ばれる少なくとも一種であるシート状化粧料。
（Ａ）融点が５０～１５０℃である油性成分
（Ｂ）イオン性界面活性剤
（Ｃ）水溶性高分子　０．０５質量％以上１質量％以下
（Ｄ）水
【請求項２】
前記成分（Ａ）が、セラミド類、前記セラミド類以外のスフィンゴ脂質、ステロール類

、炭素数が１６以上２２以下の脂肪酸および炭素数が１６以上２２以下のアルコールからなる群から選ばれる一種または二種以上を含有する、請求項１に記載のシート状化粧料。
【請求項３】
前記成分（Ｃ）が、アクリル酸系高分子およびセルロース系高分子からなる群から選ばれる少なくとも一種である、請求項１または２に記載のシート状化粧料。
【請求項４】
前記成分（Ｃ）が、アクリル酸系高分子およびセルロース系高分子を含む、請求項１または２に記載のシート状化粧料。
【請求項５】
前記成分（Ｃ）が、アルキル変性されてもよいカルボキシビニルポリマーおよびヒドロキシアルキルセルロースを含む、請求項１または２に記載のシート状化粧料。
【請求項６】
前記組成物中の前記成分（Ｃ）の含有量に対する前記成分（Ｂ）の含有量の質量比（（Ｂ）／（Ｃ））が、０．１以上３０以下である、請求項１または２に記載のシート状化粧料。
【請求項７】
２５℃における前記組成物の粘度が、５０ｍＰａ・ｓ以上５，０００ｍＰａ・ｓ以下である、請求項１または２に記載のシート状化粧料。
【請求項８】
前記成分（Ａ）が、セラミド類および炭素数が１６以上２２以下のアルコールからなる群から選ばれる一種または二種以上を含有する、請求項１または２に記載のシート状化粧料。
【請求項９】
前記組成物の含浸率が、３００質量％以上２０００質量％以下である請求項１または２に記載のシート状化粧料。
【請求項１０】
以下の成分（Ａ）、（Ｂ）、（Ｃ）および（Ｄ）を含む組成物をシート基材中に含む、シート状化粧料。
（Ａ）融点が５０～１５０℃である油性成分
（Ｂ）イオン性界面活性剤
（Ｃ）水溶性高分子　０．０５質量％以上１質量％以下
（Ｄ）水
【請求項１１】
以下の成分（Ａ）、（Ｂ）、（Ｃ）および（Ｄ）を含む組成物をシート基材に含浸させた、シート状化粧料。
（Ａ）融点が５０～１５０℃である油性成分　０．７質量％以上５質量％以下
（Ｂ）イオン性界面活性剤
（Ｃ）水溶性高分子　０．０５質量％以上１質量％以下
（Ｄ）水
【請求項１２】
以下の成分（Ａ）、（Ｂ）、（Ｃ）および（Ｄ）を含む組成物をシート基材に含浸させた、シート状化粧料であって、前記成分（Ｃ）がアルキル変性されたカルボキシビニルポリマーを含む、シート状化粧料。
（Ａ）融点が５０～１５０℃である油性成分
（Ｂ）イオン性界面活性剤
（Ｃ）水溶性高分子　０．０５質量％以上１質量％以下
（Ｄ）水
【請求項１３】
以下の成分（Ａ）、（Ｂ）、（Ｃ）および（Ｄ）を含む組成物をシート基材に含浸させた、シート状化粧料であって、前記成分（Ｃ）がアルキル変性されてもよいカルボキシビ

ニルポリマーおよびヒドロキシアルキルセルロースを含む、シート状化粧料。
（Ａ）融点が５０～１５０℃である油性成分
（Ｂ）イオン性界面活性剤
（Ｃ）水溶性高分子　０．０５質量％以上１質量％以下
（Ｄ）水
【請求項１４】
以下の成分（Ａ）、（Ｂ）、（Ｃ）および（Ｄ）を含む組成物をシート基材に含浸させた、シート状化粧料であって、前記成分（Ｃ）がアルキル変性されてもよいカルボキシビニルポリマーおよびヒドロキシアルキルセルロースを含む、シート状化粧料。
（Ａ）融点が５０～１５０℃である油性成分　０．７質量％以上５質量％以下
（Ｂ）イオン性界面活性剤
（Ｃ）水溶性高分子　０．０５質量％以上１質量％以下
（Ｄ）水
【請求項１５】
請求項１または２に記載のシート状化粧料が包装材内に収容されている、包装体。